

大学レベルにおける

3 技能に関する調査 [第3年次]

—JACET・COLTD 共同実験研究—

共同研究企画委員会

第3年次 JACET・COLTD 共同研究は次の委員が中心になって行なわれた：坪井忠二 (COLTD)，天野一夫 (JACET)，小池生夫 (同上)，五十嵐康男 (同上)，島岡丘 (COLTD, JACET)，鈴木博 (COLTD, JACET)，田島穆 (JACET)，中山隆吉 (同上)。

はじめに

外国語学習における4つの技能の相関の程度は非常に興味をひく問題である。口頭練習中心の指導をすると、聴く力、話す力だけでなく、転移 (transfer) によって読む力、書く力の習得にも寄与するといわれているが、もしそうであるならば、そういう指導を受けた学生の聴き話す力と他の2つの技能との相関はかなり高くなるはずである。また、ある2つの技能の相関が非常に高いということが一般に云えるのであれば、試験にはその一方を実施すればその結果で他方は推測できることになる。特にそのうちの片方が実施困難な試験の場合は実施の容易な方のみで済ましてもよいことになる。このように、技能相互の相関を調べることにより、外国語学習・指導のさまざまな面で、その結果が利用できる。

4技能の相関についての研究で信頼できるものはほとんどないと、John B. Carroll 博士は言っているが、(*Research on Teaching Foreign Languages*)、博士自身がこの問題について行った研究の一部が第1回 JACET 秋季特別セミナーで報告され、『英語の評価と教授』(大修館 1972) に載っている。これはアメリカの仏語専攻学生1170名の卒業直前のテストに関するものである。それによると、読む力と書く力の間の相関が.80で最高、最低は読む力と話す力の間で.58である。聞く力は話す力、読む力、書く力とそれぞれ.68, .73, .75といずれもかなり高い。

1. 共同研究のねらい

第1年次および第2年次の共同研究は聴き取り能力について、大学生の英語力実態調査、向上度と教授方法との関係、問題形式の検討などを中心におき、かなりのデータが集ったので（紀要第1号第2号に報告されている）、本年度は聴き取り能力と他の技能との関連性を研究してみようということになり、上記のテーマに決めたわけである（『英語教育』（大修館 '72年8月号）と一部記載重複）。

2. 作業過程

問題作成から結果の処理に至るまで10回の委員会を開き次のような作業過程を決め、実施した。

問題別	期日	1971年								1972年							
	3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
H	テーマの設定	形式について 定義について	作成	作成	予備実験 (COLT-DITC)	予備実験に基づく 修正(1)	LADO助言に基づく 修正(2)	録音吹込者による 修正(3)	実験の 実施	170 大学 32,000名	集 計	統 計 処 理	評 価	ま と め			
R																	
W																	
	問 題 の 作 成 修 正								実 施	結 果 の 処 理							

3. 「聴き取り」(H) に関する問題点

3.1 速さの問題

ふつうの話の速度は、1分間150語から200語ぐらいであると推定されるが、今回の聴き取りの問題は2題を作成し、そのうちの1題を速度を変えて吹き込むことにした（第1パラグラフは120語、第2パラグラフは150語）。2番は大学生同士のふつうの速さの対話を用いることにした。録音は東京教育大学外国語教育研究所のスタジオで行ない、吹込みはICUのProfessor Baird, ELECのMiss K. Irvingに依頼した。

3.2 記憶力の要素

問題文があまり長すぎると、英語力そのものよりは、記憶力のテストになってしまいがちである。これを解決するには、内容がはっきりしている問題文を選ぶこと、もうひとつには、問題文および設問文をできるだけ短くすべきであ

るという指摘が、それぞれ坪井忠二先生と R. Lado 博士よりなされた。

3.3 H の出題形式

記憶の要素を介入させないため、今回新たに試みられたのは、次のようなわばスライス式である。

第1回目の聴き取り

第1パラグラフの読み
(1分 120語)

第2パラグラフの読み
(1分 150語)

第2回目の聴き取り

問題文の1節

設問 1

問題文の2節

設問 2

問題文の10節

設問 10

設問の解答は客観形式とし、(a)～(d) のいずれか適するものに○印をつける。設問は *factual* なものと *inferential* なものの両方とする。選択肢は正答以外は絶対的に誤りであるものとする（ただし、問題文と無関係に誤りと判別できるものは含まないこと）。

3.4 問題文の内容

問題文は叙述的な内容のものと、大学生同士の会話のそれぞれ1題ずつとした。内容は「起承転結」のはっきりとしたものということにした。

4. 「読解」(R)に関する問題点

4.1 「リーディング」(R)の意味

「リーディング」は翻訳ができることと同義ではない。小川芳男会長が「*speed factor*」を強調されておられるように、「リーディング」の力も、一定時間内に、文字の連続を通してどれだけ多くの情報をどれだけ正確に処理するかという点にある。今回の「リーディング」は英語力の達成度というよりはむしろ、英語をどれだけ速く正確に読めるかという実力的な力を測定するのをねらいとした。

これは、いわゆる「速読」の力を試すものではない。日本語をふつう読むときの速度・正確さと英語を読む際とではどれだけ差があるかという点を調査する必要がある。これからの「情報社会」では、母国語とほぼ近い速度と正確さで外国語を読む必要がでてくる人が多くなろう。安倍勇氏(東工大)のご提案

で、同一問題を日本語に訳したものを被験者に与え、「リーディング」の差を見きわめることは興味があり、今後実施してみたい。ITCの米人講師にやったら、10分で30題を余裕をもって正解した。日本人の学生の場合は、ITCの2週間の訓練後、問題を終りまでやれたのは1名だけしかおらず、平均は12, 3題というところだった。

4.2 Rの出題形式

テストの形式は、質問→問題→4選択肢という順である。時間を10分間としたため、テープで時間を知らせるようにした。ストップ・ウォッチの音はテープでは音量が不十分な上、時限爆弾のような感じも与えないではなかったもので、メトロノームの音を刻むことにした。テストの実施に協力して下さった先生方の中には、テープの音は学生に不安定な気持ちを与えるという意見もあったが、音量を調節すればそれほど気にならないという意見もあったので、時間の測定をテープによることにした。

Lado博士は、Rのこの出題形式は聴き取りテストにも使えるので、各問が短ければ記憶の要素が介入しないという点ではHの“Exemplary”なものであると言われた。

4.3 問題文の内容

問題文は3～6行でまとまった内容を持っているものとし、易から難へと問題を配列した。ITC参加者54名を対象に予備テストを行ない、誤答を分析し、若干の修正を試みた。

出典はあまり市販されていないものの中で、主として Ronald Mackin の CES (Course of English Study), ESS (English Study Series), HCES (Higher Course of English Study) などの Oxford 出版物と, PBEE (Pleasant Books in Easy English) シリーズの Longmans 出版物を用いた。

5. 「書く力」(W)に関する問題点

5.1 ライティング(W)の意味

「ライティング」には、つづり字、文法、語い選択、(自由)作文などが関係してくるが、今回は、文法のうち語順の問題と語い選択の問題を取り上げることになった。語順は Lado (1961) によれば、“Partial production”であり、W

の重要な一部をなしている。また、類似語句から文脈と照らして適当な語句を選ぶことは、言語の直観性 (Intuitiveness) が基になるので、「ライティング」の能力に直接関係がある。言語は合理性と非合理性を具備しており、英語特有の言いまわしは、やはり蓄積された作文力が基礎となるので、日本人の誤りやすいものを15題選び、書く力を見ることになった。

5.2 W の出題形式

今回は語順と語い選択の問題を取り上げたが、いずれも1から4までの選択肢からもっとも適応なものを選ぶという客観的な方法をとった。

語順については、たとえば "...you may (1. up, 2. in, 3. look, 4. them) a dictionary." のうち、4の them を空欄にしておく補充式も考えていたが、Lado 博士の意見を取り入れ、語順の問題だけに限定し10題とした。

語い選択については、日本語と比較して、誤りやすい問題 (たとえば、「時計の針」 (=hand, ただし needle は誤り)、英語独特の表現 (たとえば tell と speak, satisfied と satisfactory, by と till などの区別) など15題とした。

6. 3技能の相関について

6.1 3技能相関に関する仮説

3技能の相互には関係がないという仮説と相関関係があるという仮説が成立する。「スピーキング」を含めた四技能の相関関係はすでに報告されているが、今回のような種類の問題形式によって実施した場合はどうなるかということは、試みる価値があろう。言語能力を 'Competence' と考えると、技能面に顕現するのは 'Performance' で表層的なものであり、3技能の相関ということが命題として成立するかどうか疑問になる。しかし、'Performance' 自体に独自性を全然認めないのは行き過ぎだと思われる。やはり、実験によって相関の有無を考える必要があると思う。

7. 問題内容

7.1 聴き取りに関する問題

その 1. (要領) はじめにテキストを1回通して読みます。次に2回目を読みます。2回目を読むとき、所々で区切って設問をします。設問は全部で10題あります。設問のそれぞれについて a, b, c, d の4つの解答例がありますので、そのうちもっともテキストの内容を忠実に示していると思うものの記号を解答用紙に記入してください。

答えるときは a から d まで全部聞き終えてから記入してください。では始めます。

Tom Watkins is away from the rest of the family a good part of the year.(1) When he graduated from high school, he decided not to attend the State University a short distance from the city where the family lives. He wanted to study for a degree in architecture, and the State University did not offer the degree.(2)(3) He finally chose a school in New England.(4) Tom gets home during the summer months and at Christmas time.(5)

Tom is very studious and has always done well in his academic work, even in the difficult courses he is now taking.(6) He keeps up with his assignments and has always turned in his work on time.(7) His routine, however, is not "all work and no play."(8) Tom is an excellent athlete. He plays forward on the university basketball team, and is a member of the swimming team. In addition, he is a skilled player.(9)(10)

では第2回目を読みます。設問をいれて読みますから、最も正しい答えを a, b, c, d のうちから選び、その記号を解答用紙の空所に入れて下さい。

Q1. Who is Tom away from during the most part of the year?

- a. only his father. b. only his mother. c. only his brothers and sisters.
(d). all the rest of his family.

Q2. Why did Tom decide not to attend the State University near his home?

- a. Because he thought that the university was difficult to enter. (b). Because he thought it too difficult to get a degree. c. Because it did not offer the degree he wanted. d. Because it did not have good facilities.

Q3. In what subject did Tom want to study for a degree?

- (a). architecture. b. medicine. c. athletics. d. agriculture.

Q4. Where was the school Tom finally chose?

- a. in New York. (b). in New England. c. in Mid West. d. in England.

Q5. When does Tom go back home?

- a. every weekend. b. only in summer. c. only at Christmas. (d). both in summer and at Christmas.

Q6. How has Tom done in his academic work?

- (a). always done well. b. sometimes done well. c. never done well.
d. usually done well.

Q7. How does Tom do at school?

(a). very well. b. poorly. c. unsatisfactorily. d. fair.

Q8. How is Tom's daily life?

a. He always works and never plays. b. He never works and always plays. c. He works little but plays a lot. (d). He works hard and plays a lot.

Q9. What athletic teams does Tom belong to?

a. tennis and soccer. (b). basketball and swimming. c. tennis and baseball. d. swimming and volleyball.

Q10. What is Tom now?

a. a high school student. (b). a college student. c. a professional tennis player. d. an architect.

その 2. (要領) 今度はアメリカ人同士の対話を2回聞きます。これは Mary と Bill との対話です。対話を聞いたあと、10題の設問がありますからそれに答えて下さい。この問題では設問のときに対話を切って聞くことはしませんから注意して下さい。では始めます。

Mary: Bill, thank you for the pleasant time we had at the restaurant last night. I am sorry I had to leave so suddenly.

Bill: Not at all, Mary. After you left, I met a charming girl there.

M: Oh, really? Do I know her?

B: Yes, you know her quite well. But I hadn't met her till last night. I was a little angry that you had never introduced me to her.

M: Who was your mysterious and charming girl?

B: It was your friend Ann. She introduced herself. We went out for a walk in the park. The moon had already risen and it was very romantic.

M: Bill! I'm shocked!

B: But let me tell you what happened after we'd got into the park.

M: No! I don't want to hear what you did.

B: Please, Mary. You must listen. Well, we'd hardly gone a few yards when we met—well, who do you think?

M: I don't know and I don't care.

B: It was George.

M: George?

B: He was very surprised to see us. You see, *he* was the friend that Ann had been waiting for at the restaurant.

M: Ann never told me about him.

B: Then we all *three* went back for more coffees and by the time we had finished them, we had made plans for all four of us to spend a holiday in London.

M: Well, I really don't know what to say.

B: Don't say anything. Just look forward to the holiday.

では今の対話について設問の文を言います。a, b, c, d のうちどれが今の対話に正しくあてはまるか、その記号を解答欄に入れなさい。記入する時は、a, b, c, d の文を全部聞いてから書き入れて下さい。

Q1. Mary thanked Bill

a. for the present Bill had given her. (b). for the pleasant time she had with him. c. for the nice holdiai plan in London. d. for the pleasant walk in the park.

Q2. Bill met Ann

a. on his way to the restaurant. b. on his way to the park. c. while he was with Mary. (d). after Mary had left.

Q3. The number of the people who are going to spend a holiday together is
a. two. b. three. (c). four. d. five.

Q4. When Mary said, "No! I don't want to hear what you did," Bill replied,
(a). "Please, Mary. You *must* listen." b. "All right, Mary." c. "I'm shocked." d. "Oh, really!"

Q5. The people who went back to the restaurant together were

a. Bill and Ann. b. Bill and Mary. c. George and Ann. (d). George, Bill and Ann.

Q6. Mary said, "I really don't know what to say," because she found that
a. Bill liked Ann better than her. b. Ann seemed to be interested in Bill. c. Bill was friendly to anyone. (d). she had misunderstood Bill.

Q7. Bill said to Mary, "I was a little angry," because

a. she hadn't stayed long in the restaurant. b. she hadn't gone out for a walk with him. (c). she had never introduced him to Ann. d. she hadn't gone back to the restaurant.

Q8. Mary was not very pleased when Bill told her that

a. he had met a very charming girl in the restaurant. (b). he had gone for a walk with the charming girl. c. Ann had met George. d. Ann had been waiting for George.

Q9. The night before, Bill met Mary

- (a). at the restaurant. b. in the park. c. at Ann's house. d. in London.

Q10. In the restaurant Bill and Mary drank

- (a). coffee b. tea c. beer d. coke

7.2 リーディングに関する問題

(要領) 問題は全部で25題あります。所定の時間は10分間です。所定の10分間にできるだけ多くの問題の解答をして下さい。全部できなくてもかまいません。

開始と終りの合図はテープでいたします。チャイムの音が鳴ったら開始して下さい。10分たつと終りを示すチャイムが鳴ります。チャイムが鳴ったら、途中をやりにかけていても止めて下さい。ではチャイムを合図に始めて下さい。

例 題

When did George probably arrive at the station on that day?

George lives near the station. He can usually walk to the station in ten minutes. On that day he left home at eight ten.

- a. 8:00. b. 8:10. c. 8:20. d. 8:30.

正解: c.

[注意] 設問をまず読み、次に本文を読みます。

設問の答えを a, b, c, d のうちから最も適当なものを選びその記号を解答用紙に記入してください。

所要時間は10分です。10分内にできるだけ多くの問題に答えなさい。ただし、全部できなくても構いません。

時間はテープが知らせます。

1. *How old is Bill?*

Mary is ten years old. She has twin brothers named Tom and Bill and a brother Jack who is twelve years old. Tom is six.

- a. ten b. twelve. c. eight. (d). six.

2. *What did the man do finally?*

After walking along for about a mile without seeing either houses or people, he became extremely tired, and he lay down on the grass to fall into sound sleep.

- (a). He fell asleep. b. He sat down.
c. He found some people. d. He found a house.

3. *What did the man notice then?*

When he opened the door, he was surprised to see the passage filled with smoke and he noticed a strong smell of burning.

- a. the closed door. (b). smoke and smell.
c. the passage. d. the house burned down.

4. *Where did the castle stand?*

We drove along the sea, when a short distance before we came to the castle we took a turning up a side road leading away from the sea and in a few minutes we arrived at the castle.

- a. a long way from the sea. b. near the crossing
(c). a few minutes away from the sea d. right on the cliff

5. *What did the boy do when he saw a stranger?*

If the boy had been a few years older and wiser, he should doubtless have talked with the stranger. But instead he ran out through the back door and loudly called out for help.

- (a). ran away for help. b. ran up to him.
c. talked with him. d. asked for his help.

6. *Where did they see a bear?*

Just then they heard a strange sound, like something heavy, but not hard, rushing over dry leaves. Then they saw a large bear, as big as a horse, running after them a short distance away with its head down.

- a. under the leaves. (b). a short distance away.
c. over something heavy. d. near their horse.

7. *What is urgently needed for the people living in distant places?*

Millions of people are living in distant places where there are no railways, no proper roads and no telephones. Thousands of lives are lost every year which could have been saved if medical attention had been provided in time.

- (a). immediate medical treatment. b. railway services.
c. more houses. d. church yards for lost lives

8. *What would a faithful dog ask for?*

As ill luck would have it, if the master should become friendless and homeless in the world, the faithful dog would ask no higher pri-

vilege than that of accompanying his master, to guard against danger, and to fight against his enemies.

- a. protection from danger and enemies.
- b. fighting against his own enemies.
- c. a comfortable home. (d). accompanying his master.

9. *Why did Mrs. Smith stay out of doors all day?*

Mrs. Smith is aged eighty-six and had outlived all her close relatives but had a room in the house of her sister-in-law, who apparently disliked her intensely. In addition the son of the house, a person of low IQ and distressing behavior, used to terrorize the poor old lady so much that she stayed out of doors all day just to be out of the way.

- a. Because she lost her close relatives and felt lonely.
- b. Because she liked the cool air outdoors.
- (c). Because she was hated and terrorized
- d. Because she was poor and had no room to stay in.

10. *What are the houses in modern times like?*

In modern times houses differ less from country to country because people do not depend solely on local materials and because ready-made building components are widely used. Nevertheless, many local characteristics persist.

- a. no differentiation. b. complete standardization
- c. more local characterization. (d). less differentiation.

11. *Where did camels probably originate from?*

Camels have been domesticated for so long in the middle east that it is not known for certain where they originated, though Arabia is thought to be the most likely country.

- (a). probably Arabia. b. some countries in the East.
- c. entirely unknown. d. some countries in the West.

12. *What is the immediate cause of New Zealand's prosperity?*

Until recently, the raising of great numbers of animals and the export of their products had not been profitable, because New Zealand is far from the lands that might consume its meat and butter. The use of refrigeration overcame this difficulty. As regards feeding the cattle, the native grasses are not very nourishing. They have

been ploughed up in many districts and English grasses sown instead. This has much improved the pastures.

- a. product of meat and butter.
- (b). the use of refrigeration and the sowing of English grasses.
- c. pastures and industrialization.
- d. nourishing of cattle.

13. *What will be the reaction of common people to a new idea in general?*

The average brain is naturally lazy and tends to take the line of least resistance. The mental world of one ordinary man consists of beliefs which he has accepted without questioning and to which he is firmly attached.

- a. willingness to believe without questioning
- b. willingness to accept it.
- (c). reluctance in accepting. d. neutral.

14. *What should be the attitude of grown-up people toward learning?*

There is a danger, and a very real one, that a grown-up people especially well-educated ones may consider that their days of learning are over, and that their business is to make money not to learn. This is a pitifully foolish attitude, for the wisest and most learned man alive is still, as Newton expressed it, like a child picking up pebbles by the sea of knowledge.

- a. to play on the beach. b. to make money for the family.
- c. to retain their education received.
- (d). to devote themselves to learning more.

15. *Why did one man survive in the volcanic explosion of Mt. Vesuvius?*

Out of the population of 30,000 odd only one man survived. He was a prisoner condemned to death and was saved from heat and suffocation by the thick prison walls and the narrow slit of his cell window when the incandescent cloud of volcanic ash and choking gases rushed upon the town the slopes of the mountain.

- (a). because of thick walls and narrow windows.
- b. because of choking gases and volcanic ash.
- c. because of his strong will.
- d. because of some remaining water.

16. *How are English rivers different from Continental rivers?*

There is always a river not far away in England; and although judged by Continental standards, our rivers may for the most part be small and insignificant, they are perhaps the more intimately known for that. Certainly they are not the kind about which national songs are composed, as in the case of the Rhine or the Danube or the Volga; but at least they are the kind in which a boy can bathe and in which a farm-hand can tickle an occasional trout.

- a. more suitable for the national songs.
- b. virtually not very different from the Rhine or the Danube.
- (c). smaller and insignificant but more intimate.
- d. abundant in trout.

17. *On what principle was the New English Dictionary based?*

Valuable though the actual volumes of the dictionary were, there was perhaps an even more valuable product of this enterprise—a new way of thinking about language problems and ‘rules’. The emphasis was upon history. The compilers did not pretend to lay down a certain ‘correct’ way of using a word, but showed us the various uses to which it had actually been put at various times in the past.

- a. the correct way.
- (b). history.
- c. the present uses.
- d. the compilers’ intelligence.

18. *What kind of room did Mme. Curie have to use for her research?*

The research was carried out under great difficulty. Mme. Curie had to use an old storeroom at the university as her laboratory—she was refused a better room. Here it was cold and damp, there was no proper apparatus and very little space for research work.

- (a). a storeroom.
- b. her husband’s room.
- c. her own room at home.
- d. a special room for research at the university.

19. *What is the nature of the competition of man against man?*

The competition of man against man is not the simple process envisioned in biology. It is not a simple competition for a fixed amount of food determined by the physical environment, because the environment that determines our evolution is no longer essentially physical. Our environment is chiefly conditioned by the things we believe.

- a. conditioned by biological environment.
- (b). conditioned by what we believe.
- c. conditioned by something essentially physical.
- d. conditioned by food and our body.

20. *How high is the temperature inside the sun?*

We must not be contemptuous of the Sun. Cosmically it is far more important than our own insignificant world. Its diameter is 864,000 miles so that it could contain more than a million globes the size of the Earth. Even at its surface, the temperature is around six thousand degrees Centigrade, and in the solar 'powerhouse', deep inside the temperature must rise to well over ten million degrees.

- a. 1,000,000°
- b. 6,000°
- (c). higher than 10,000,000°
- d. 264,000°

21. *What was Machiavelli's contribution to politics?*

To many people, I imagine, Machiavelli represents the essence of political evil. Yet the man himself loathed despotism and believed devoutly in the virtues of the republican institutions. He knew from his own direct observation, political practice was synonymous with ruthless egoism. He regretted this fact perhaps as much as any man, but he sought to report honestly what he believed to be the truth.

- (a). the honest report of what he believed to be the truth.
- b. the establishment of the good model of the republican institution.
- c. fight against political evil.
- d. the justification the ruthless egoism in the political world.

22. *Why don't the Koreans express thanks for a gift or a kindness?*

There is nothing quite so aggravating as someone's failure to appreciate a gift or a kindness. Perhaps calculated lack of appreciation is nowhere further developed than in Korea. Of course, many Koreans are very thankful for gifts, but more often than not there is the well-developed concept, coming from Buddhism, that it is the giver rather than the recipient who should be thankful, since the recipient has provided a means by which the giver may gain merit through the gift. It is a real part of Oriental thinking.

- a. Because Buddhism taught them that they should not say,

“Thank you.”

- (b). Because they think that the giver should express thanks to recipient for gaining merit through the gift.
- c. Because they think that the recipient is more superior to the giver.
- d. Because they were influenced by Occidental ways of thinking.

23. *What does the bow mean to the Americans?*

For an American, bowing implies complete subservience, almost a kind of worship. To the Japanese it was purely a matter of social respect. When however, some enthusiastic young missionaries went to Japan after the war, they reported mass conversions of the Japanese, who readily bowed in response to rather poorly understood appeals for loyalty to Jesus Christ. It turned out that the bowing was more a response to the authority of American occupation than to any religious commitment to Christ.

- a. It means merely a social respect for something or somebody.
- b. It means the expression of friendliness.
- c. It means loyalty to Jesus Christ.
- (d). It means almost a kind of worship of something or somebody.

24. *What kind of abstracts appear in “Biological Abstracts”?*

“Biological Abstracts” is a scientific journal consisting of extremely condensed summaries or abstracts of current scientific, biological literature. Biology, however is such an extensive field that the abstracts, if published in one volume, would be expensive and bulky. They are, therefore, divided into five volumes dealing with specialized topics within the general biological field, each of which may be purchased independently.

- (a). condensed.
- b. widespread.
- c. extensive.
- d. bulky.

25. *What partially overcomes the limits of human perception?*

There are limits of exactness in human perception which are irremedial. As two lines or forms are made more nearly equal, a point is reached at which the unaided eye can no longer distinguish between them. To eliminate this source of error in observation, precision instruments have been devised which permit greater accuracy

of measurement than could be obtained otherwise.

- | | |
|-------------------|---------------|
| a. observation. | b. accuracy. |
| (c). instruments. | d. exactness. |

7.3 「ライティング」に関する問題

その 1. (要領) 所要時間は15分です。時間はテープが知らせます。その 1 は語順の問題です。かつこ内を正しい順序に並べその番号を解答欄に記入しなさい。

例 題

The doctor told me (1. to, 2. again, 3. never, 4. smoke)

正解: 3 1 4 2

その 2. (要領) 所定の時間は5分です。時間はテープが知らせます。その 2 はかつこ内から正しい語を選ぶ問題です。合図があったら始めなさい。

例 題

May I (1. serve, 2. help, 3. offer, 4. take) you to some jam?

正解: 2

その 1

- If you don't understand the meanings of these words, you may (1. up 2. in 3. look 4. them) a dictionary.
- I have (1. to 2. nothing 3. with 4. do) the matter.
- I cannot complain about the condition of the car, as I bought it (1. next 2. nothing 3. to 4. for).
- He (1. himself 2. thought 3. as 4. of) a painter.
- He lives (1. door 2. to 3. me 4. next).
- I had no idea (1. which 2. to 3. choose 4. one).
- The boys don't attend their meetings regularly, (1. neither 2. the girls 3. do 4. and).
- If you don't know the place well, ask the conductor (1. to 2. where 3. off 4. get) the bus.
- Those two brothers resemble each other so much that we often (1. one 2. take 3. for 4. the other).
- I'm just wondering if it could (1. service 2. be 3. any 4. of) to you.

その 2

1. One of the (1. hands 2. needles 3. pins 4. pens) of the clock is missin.
2. We wear (1. cloth 2. clothes 3. cloths 4. a cloth) to keep us warn.
3. This fruit tastes (1. bitter 2. bitterly 3. bitterness 4. bitterful).
4. I will let you know as soon as I (1. shall have 2. have 3. will have 4. shall have had) any information.
5. We (1. congratulated 2. met 3. told 4. observed) him on winning the first prize.
6. No sooner had the baseball game started, (1. when 2. then 3. than 4. as) it began to rain.
7. He didn't (1. say 2. speak 3. talk 4. tell) us where he had been.
8. We are very sorry that you (1. are not satisfactory 2. are not satisfied 3. did not satisfy 4. are unsatisfactory) with out work.
9. What does the bill (1. become 2. come to 3. amount 4. equal to)?
10. (1. We are 2. You are 3. It is 4. They are) impossible to master a foreign language in a year or two.
11. As Tom felt ill, the teacher gave him (1. allowance 2. excuse 3. permission 4. permit).
12. Can I (1. borrow 2. hire 3. lend 4. rent) some money from you?
13. He is a very (1. imaginary 2. imaginative 3. imagined 4. imaginable) writer: he is always writing about journeys in space and such things.
14. I didn't think it worth (1. mentioned 2. mentioning 3. mention 4. to mention).
15. He should have arrived (1. till 2. by 3. before 4. until) now.

8. 結果の処理

8.1 参加大学

今回の実験研究に参加した大学とご協力していただいた方々は次の通りである（敬称略）。

北海道教育大学（森永正治）、北海道大学（栗原豪彦）、北星学園大学（船津好平）、北海道教育大学釧路分校（鈴木史朗・東毅）、山形大学工学部（斎藤作太郎）、山形大学教育定部（尾形良範）、岩手大学教養部（柳内忠剛）、福島県立医科大学（引地岳雄）、山形大学教養部（斎藤作太郎・藤田孝・飯島武久・工藤光三・秋保慎一）、青森明の星短大英語科、東北大学教養部（佐々木肇）、福島大学教育学部（西村嘉太郎）、奥州大学（那須弘三郎）、弘前大学（西村清己）、秋田大学教育学部（飯田正志）、東北学院大学（畑中孝実）、新潟大学教育学部長岡分校（諸橋哲夫）、茨城大学（川村安宏）、長野県短期大学（北沢達雄）、高崎経済大学（森田正実）、大妻女子大学（視聴覚教育サービス部）、東京理科大学（鈴木武）、恵泉女学園短大（菊池みつえ）、成蹊大学（山本俊樹）、上智大学（楠瀬淳三）、慶応大学（小池生夫・江野沢一嘉）、成城大学（中村直子・吉田正治）、職業訓練大学（松下菊人）、玉川大学（後藤哲也）、立教大学（長谷川潔・横尾和歌子）、お茶の水女子大学（長谷川潔）、津田塾大学（大東百合子）、日本女子大学（井出祥子）、東洋女子短大（東後勝明）、神奈川県立外語短大（高崎修・鈴木忠夫）、東京電機大学（浅野博）、中央大学（桃沢力）、東京女子大学短大部（升川潔）、聖心女子大学（嶋崎陽子・シスター田中順子）、白百合女子大学（石井正之助）、明治学院大学（皆川三郎・大井上滋）、鶴見女子大学（中村敬）、国士館大学（小池義公・西野入徳）、和洋女子大学（奥津文夫）、東京商船大学（松本薫・桜井雅人）、南山短期大学（神谷秋津・宮崎公江）、山梨大学（久保田泰夫）、神井工業高専（常木清）、金沢大学（長谷川光昭）、愛知淑徳短期大学（井上亮治）、南山大学（直井豊）、愛知県立看護短大（森米二）、名古屋大学教養部（佐藤一夫）、名古屋学院大学（清水克正）、愛知県立芸術大学（羽澄英治）、富山大学（藤田賢治）、愛知教育大学（小林典郎）、名古屋市立大学（浜四津文一郎）、信州大学（北村達三）、福井大学教育学部（茨山良夫）、静岡女子短大（金子容子）、大妻学院大学視聴覚教育センター（天野一夫・河野武）、愛知工業大学（堀内俊和）、金沢大学（大塚巖）、和歌山大学（次重寛禧）、奈良教育大学（佐藤秀志）、京都産業大学（梅田巖）、京都大学（安藤昭一）、ノートルダム女子大学（松本佳子）、京都府立医科大学（服部

英二), 追手門学院大学(緒方進), 関西大学(小林宏行), プール学院短期大学(小林宏行), 帝塚山大学(池宮恒子), 同志社女子大学(小田幸信・福本一), 桃山学院大学(大谷泰照), 平安女学院短大英文科(矢崎庄司), 大谷女子短大(青木幸子), 大阪女学院短大(月山みね子), 金蘭短期大学(吉川千鶴子), 大阪教育大学池田分校(丸谷満男), 大阪電気通信大学(木山勇司), 被昇天女子短期大学(本多律理), 大阪市立大学(増田芳雄), 神戸大学(笥寿雄), 明石工業高等専門学校(宮内芳郎), 賢明女子短期大学(嶋田三郎), 松陰女子大学(高原脩), 天理大学(堀部充), 甲南女子大学(広永周三郎), 奈良女子大学(清水汜・森本佳樹), 梅花女子大学(平嶋順子), 広島女学院大学(中野丈策), 広島工業大学(川地理策), 広島大学(今井光規), 岡山大学(西前美己), ノートルダム清心女子大学(小田朗美), 山口大学(水田巖), 徳島大学(清村隆寿), 高知大学(大林輝彦), 四国学院大学(浜島敏), 九州大学(宮原文夫), 九州大学教養部(渡辺脊吉), 福岡教育大学(池浦貞彦・松畑熙一), 長崎県立国際経済大学(木下良樹), 長崎大学(添田裕), 久留米大学(岡国臣), 熊本女子大学(富田党夫), 宮崎大学(小篠敏明), 佐賀大学(越智英二), 筑紫女学園短期大学(林秀武), 九州工業大学(井戸修), 熊本大学(福田昇八・荘口博雄), 琉球大学短大部(伊藤文雄), 大分大学教育学部(永沢二郎・森正己)

8.2 測定結果

8.2.1 各群の平均値 技能別の各群の平均値は表1の通りである。

表1. 各群の技能別(H, R, W)平均値

	H	R	W		H	R	W		H	R	W		H	R	W
1-1	6.5	4.5	7.4	14-2	11.1	8.4	16.4	27-14	8.8	6.3	8.3	48-1	10.1	7.3	12.9
2	7.2	7.6	10.2	3	10.2	7.9	13.6	15	8.1	4.9	9.4	2	8.4	16.1	10.8
3	7.9	4.9	6.8	15-1	7.8	5.0	8.8	16	7.6	6.9	8.0	50	8.9	7.9	15.0
2-1	10.0	8.9	13.9	2	7.5	5.9	6.7	17	9.3	6.4	9.1	51	9.3	7.5	12.7
2	11.7	10.5	15.1	3	9.3	6.9	12.2	18	9.1	5.3	7.2	52	11.5	6.6	8.5
3-1	13.7	6.4	13.5	4	11.6	7.4	12.6	19	6.0	6.0	6.4	49-1	9.8	8.4	14.1
2	11.2	6.9	11.6	16	8.7	7.6	11.3	28-1	12.8	8.1	13.8	2	11.7	8.3	14.9
3	12.1	6.8	11.9	19	11.3	7.1	12.1	2	12.6	7.6	12.6	59	10.3	6.6	9.5
4	11.7	7.7	11.0	20-1	10.3	7.5	10.6	29	15.8	19.7	12.3	60	12.9	9.6	16.7
4-1	6.2	5.6	7.6	2	9.1	5.3	10.0	30	19.6	13.0	19.9	62-1	8.3	6.4	12.9
2	6.4	5.6	9.0	3	6.1	6.6	11.1	32-1	13.8	8.8	14.4	2	8.0	5.9	11.3
3	5.9	5.9	8.5	21	11.8	7.2	14.3	2	12.4	8.3	16.7	3	8.1	6.5	10.3
4	4.6	5.7	8.8	22-1	7.4	6.4	9.0	34-1	16.7	11.9	18.9	4	10.4	7.5	14.5
5-1	10.1	8.3	11.9	2	9.4	6.5	12.1	2	13.7	8.9	18.0	5	10.8	8.8	16.4
2	9.2	6.7	10.9	23-1	16.3	12.9	20.8	35	11.4	7.8	9.9	63	9.9	6.2	11.0
3	10.1	9.0	14.1	2	7.9	8.3	15.0	36-1	11.7	7.9	13.4	66-1	7.0	6.0	10.0
4	8.3	6.4	10.6	3	9.1	5.9	12.5	2	9.8	6.5	12.7	2	15.3	9.8	17.7
5	10.6	6.3	12.3	4	11.8	7.5	15.0	37-1	15.8	9.1	17.9	3	8.9	7.0	11.5
6	9.5	7.0	11.3	24-1	12.0	9.3	14.8	2	15.8	9.6	18.1	4	7.6	6.8	11.5
7	9.4	7.2	11.4	2	11.8	9.1	13.8	39	13.8	9.0	15.9	5	8.5	6.8	10.5
8	9.1	8.1	11.7	3	13.7	9.7	15.6	41	15.4	10.0	17.5	56	12.2	5.4	9.7
9	8.3	6.8	9.7	26	14.2	10.7	13.3	42-1	7.9	6.3	10.0	67-1	11.4	6.8	11.5
10	9.7	7.2	11.8	27-1	7.6	7.9	9.4	2	9.2	5.8	10.7	2	11.3	6.0	11.6
11	8.8	7.1	12.1	2	9.1	8.5	9.9	3	10.7	7.3	13.1	3	11.1	6.7	12.4
12	7.1	5.5	9.1	3	9.1	6.6	10.9	43-1	5.4	5.1	11.5	4	12.4	7.2	12.7
6-1	11.4	7.9	13.9	4	8.9	7.2	11.1	2	6.5	5.8	6.5	5	11.9	6.8	12.4
2	10.3	7.7	12.4	5	9.3	6.3	12.0	3	5.2	5.3	4.7	6	12.3	7.7	13.2
3	7.2	9.0	9.0	6	9.3	6.7	9.6	4	6.1	5.8	6.2	69-1	7.1	5.5	8.0
4	9.6	6.8	11.7	7	8.7	8.8	10.3	5	6.4	6.4	5.6	2	10.0	6.7	9.0
5	9.5	7.7	11.5	8	7.3	7.4	8.2	6	5.0	5.6	5.9	3	9.8	7.1	9.2
10-1	13.1	7.3	11.7	9	7.3	7.3	9.1	45-1	9.1	7.3	11.2	4	10.3	6.5	9.9
2	14.5	7.3	12.7	10	9.6	6.8	10.1	2	10.7	8.1	10.5	5	11.6	6.9	11.5
12	10.2	7.8	12.1	11	7.1	7.0	10.5	3	8.4	6.3	7.8	6	9.3	5.8	8.0
13	6.2	5.9	5.8	12	7.7	6.3	8.9	4	8.4	5.1	9.1	7	9.9	6.4	9.4
14-1	8.0	6.4	10.7	13	7.1	6.3	7.1	5	10.4	6.8	10.2	8	10.7	6.1	10.4

H R W				H R W				H R W				H R W			
69-9	10.8	6.6	12.6	95-3	14.4	9.2	18.1	107-2	10.3	7.4	13.9	115-6	6.4	8.0	12.4
10	15.1	9.3	14.0	93	12.3	7.2	12.5	3	11.1	7.7	14.6	7	5.9	6.8	13.1
11	16.6	11.7	18.4	94	7.5	6.5	9.7	4	9.5	8.5	14.3	8	6.9	7.5	14.9
12	15.0	7.8	16.3	88-1	8.1	8.1	15.0	5	10.7	8.1	14.3	9	10.0	7.9	12.6
13	13.2	8.2	13.4	2	10.1	7.9	12.3	6	6.7	8.1	13.1	10	8.4	8.1	11.7
14	11.8	7.5	12.5	95-4	9.6	5.6	14.7	7	12.1	11.0	15.7	117-1	11.7	6.7	13.7
72-1	9.7	5.8	8.6	5	12.2	7.3	13.8	8	10.4	9.9	14.2	2	11.5	8.2	13.8
2	8.8	7.0	9.0	96-1	10.2	—	—	9	12.5	9.9	15.2	118-1	7.3	5.3	7.8
3	9.6	5.4	7.3	2	9.6	—	—	10	11.2	8.9	14.8	2	7.3	5.1	7.7
4	7.1	6.1	6.0	3	13.2	—	—	11	9.7	7.3	15.1	119-1	10.2	6.9	15.4
5	9.5	5.5	4.0	4	13.1	7.1	14.8	12	8.4	8.2	15.3	2	12.8	7.8	14.6
75	7.0	5.8	7.4	97-1	11.4	7.4	10.7	108	12.1	8.1	15.0	120-1	9.1	7.5	12.8
76-1	18.0	11.9	15.0	2	11.6	7.1	10.9	109-1	8.0	4.7	8.3	2	11.2	8.0	15.6
2	11.8	8.7	14.2	3	7.9	6.4	7.3	2	8.8	5.3	10.6	3	8.8	7.5	13.8
70	13.2	13.4	21.7	4	8.2	6.1	7.3	3	12.2	8.7	15.8	4	12.8	9.9	15.6
77-1	10.0	6.8	9.7	98-1	11.2	8.6	15.1	4	9.3	6.4	10.9	5	7.7	7.3	13.0
2	8.9	6.3	8.4	2	11.0	8.1	15.1	110-1	9.4	6.9	13.8	6	9.3	7.7	11.3
78	11.3	6.1	10.5	3	12.1	8.6	16.0	2	7.1	6.7	11.0	121	8.5	6.4	8.3
85	10.0	6.5	13.0	4	11.9	11.1	16.2	3	8.2	6.3	11.1	122-1	12.6	7.6	14.7
89	9.0	5.6	6.8	5	10.8	8.3	14.8	4	7.4	6.4	10.4	2	12.9	7.6	15.5
91-1	16.1	11.3	19.4	?-1	8.2	6.2	10.7	111-1	9.9	6.0	8.9	3	12.3	8.4	13.2
2	11.7	9.4	16.1	2	7.7	6.4	9.3	2	9.6	6.0	8.2	4	13.8	8.0	16.4
3	11.9	8.6	16.6	3	9.0	6.9	10.8	3	9.4	5.1	8.1	5	13.8	7.9	14.9
4	9.3	6.9	14.7	101	13.4	8.5	16.0	4	9.6	6.2	9.3	6	11.8	7.5	15.6
5	12.3	7.6	16.0	104-1	12.3	7.3	16.3	5	7.9	6.1	9.4	7	7.9	5.9	9.2
6	10.0	7.8	15.0	2	8.0	9.0	11.3	6	9.1	6.8	8.9	8	9.3	6.1	9.1
7	9.2	6.8	13.7	105-1	5.5	7.1	11.0	7	9.2	5.4	8.2	9	13.7	8.2	16.2
8	13.6	10.5	17.6	2	5.4	6.3	10.5	8	9.3	6.0	8.0	10	14.4	9.0	17.5
9	12.7	10.3	18.1	3	8.3	5.8	10.2	9	8.4	5.6	9.2	11	11.6	7.8	15.0
92-1	13.9	10.6	17.7	4	7.3	10.2	11.8	114	10.0	7.9	14.0	123-1	9.3	5.3	8.5
2	13.5	8.3	14.8	106-1	9.5	5.9	8.7	115-1	8.6	6.4	11.0	2	9.8	5.5	8.7
3	8.9	8.9	11.6	2	8.3	5.5	9.0	2	8.9	6.4	11.0	3	10.1	7.3	12.7
93	12.1	7.9	14.2	3	8.0	6.3	8.8	3	8.8	8.3	14.9	124	10.1	7.4	11.7
95-1	10.7	6.5	14.0	4	8.0	6.1	8.5	4	9.6	7.8	13.7	総平均 H : 10.1 R : 7.3 W : 12.0			
2	10.6	7.5	14.1	107-1	8.4	8.2	13.4	5	9.4	6.9	11.4				

8.2.2 平均値の分布 3技能のそれぞれについて分布を求めると表2のようになる。これを図式化すると図1のようになる。

表2. 技能別(H,R,W)平均値の分布

H		R		W	
		4.0	1	4.0	1
4.5	1	4.5	3	4.5	1
5.0	5	5.0	15	5.0	
5.5	2	5.5	25	5.5	4
6.0	8	6.0	42	6.0	3
6.5	4	6.5	41	6.5	4
7.0	17	7.0	32	7.0	7
7.5	15	7.5	39	7.5	4
8.0	25	8.0	28	8.0	12
8.5	16	8.5	14	8.5	13
9.0	35	9.0	11	9.0	20
9.5	22	9.5	8	9.5	8
10.0	25	10.0	4	10.0	12
10.5	10	10.5	3	10.5	17
11.0	15	11.0	3	11.0	18
11.5	21	11.5	3	11.5	17
12.0	16	12.0		12.0	13
12.5	8	12.5	1	12.5	15
13.0	7	13.0	1	13.0	11
13.5	11	13.5		13.5	13
14.0	2	14.0		14.0	13
14.5	2	14.5		14.5	16
15.0	4	15.0		15.0	16
15.5	1	15.5		15.5	7
16.0	2	16.0		16.0	11
16.5	2	16.5		16.5	3
17.0		17.0		17.0	
17.5		17.5		17.5	6
18.0	1	18.0		18.0	5
				18.5	1
				19.0	1
				19.5	
				20.0	
				20.5	1
				21.0	1
				21.5	

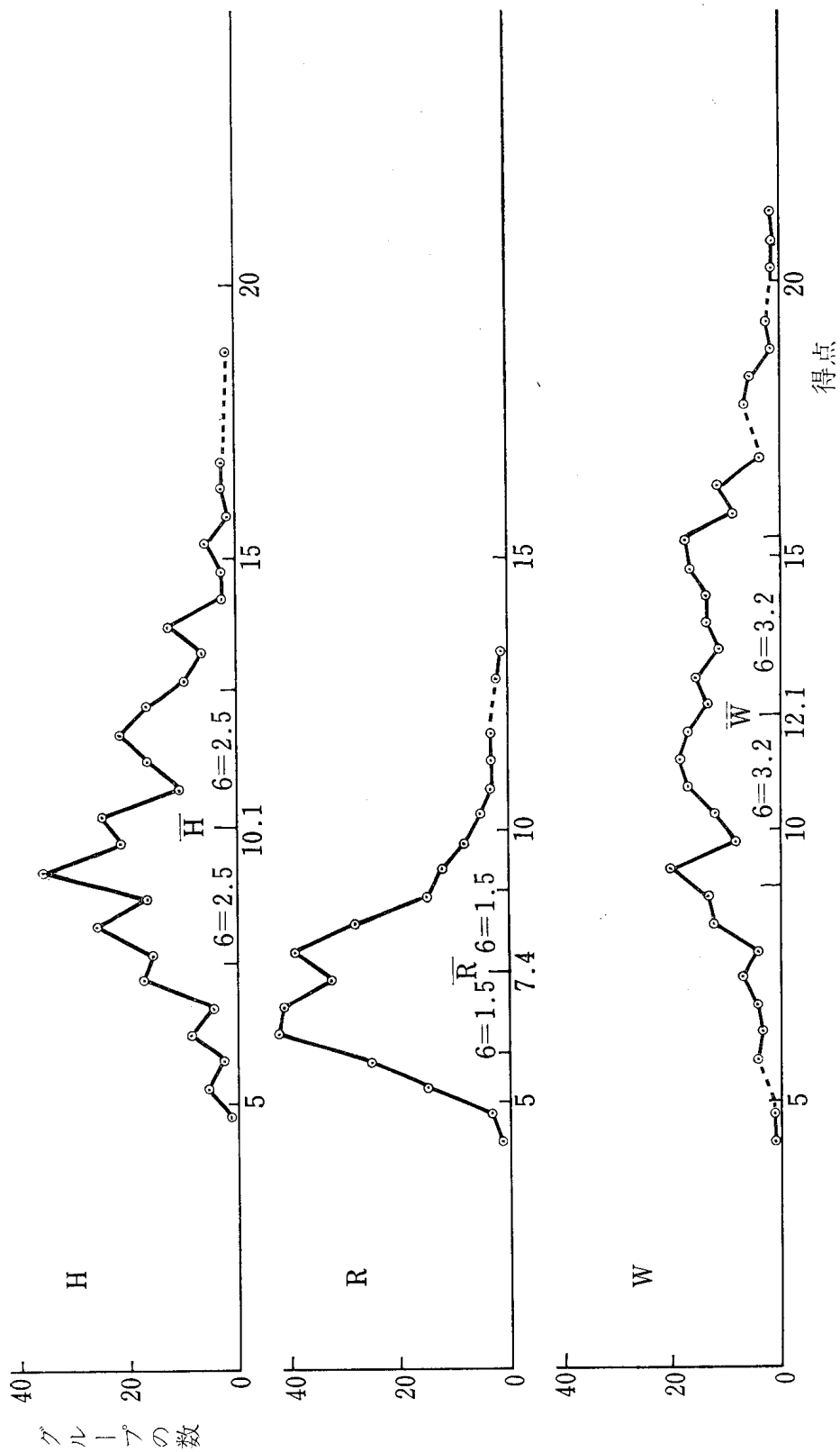


図1. 各技能別(H, R, W)平均値の得点分布図

8.3 3技能の相関について

3技能の相関は第2～4図に示してある。相関係数は次のようであった。

R-W .79 H-W .73 R-H .67

すなわち、R-W と H-W では高い相関が、R-H では適度の相関が見られた。この数値の示す傾向は前述の Carroll 博士の得た相関の傾向と似ている。(R-W .80, H-W .75, R-H .73)。

この統計処理は、各クラス内では3技能に関して個人間に同じような傾向があることが経験的にいえると考え受験者個人個人ではなく、各クラスの平均に基づいて行なった。したがって、個人別に考えた時には、必ずしもその結果があてはまるとは限らない。

得点分布図(図1)で特徴的なのはRの分布が他の2つの技能に比較して非常に狭く、しかも、山の右側が急に小さくなっていることである。入学試験が読解力中心である影響であるかも知れない。

9. 実験の反省

9.1 アソケートより

9.1.1 テスト問題については、まず、今回狙ったヒアリング能力の評価にふさわしい問題だったかどうかを考えられねばならない。

形式については、Writingの問題がはたしてWritingの力を見るのにふさわしいかどうか疑問視する人が多い。これは作成委員側でも議論の多くなされたところであるが、Writingの一部門としてのこのような形式の問題であったら、他の問題とどのような相関が見られるであろう、というきわめて限られた条件のものである。

Hearingの形式については、1番はよくないという批判が出されている。Readingの形式については特に批判がなかった。

次に難易度については、Readingの問題に難しいものがあるという意見が出されている。これは対象の学生によって感じ方が異ってくる種類の批判であるが、全体としてReadingが難しいとして意見が出ているのは、解答時間の絶対量が少なかったことに原因があるようである。これは、作成委員側で、最高どの程度まで速読が可能かを調べるために、もっとも優秀な学生に対しても全問は解けぬように構成したもので、もともと予測していたことであった。しかし、あまりにも予想より低い速読能力が現状とすると、よけいな不安感をあ

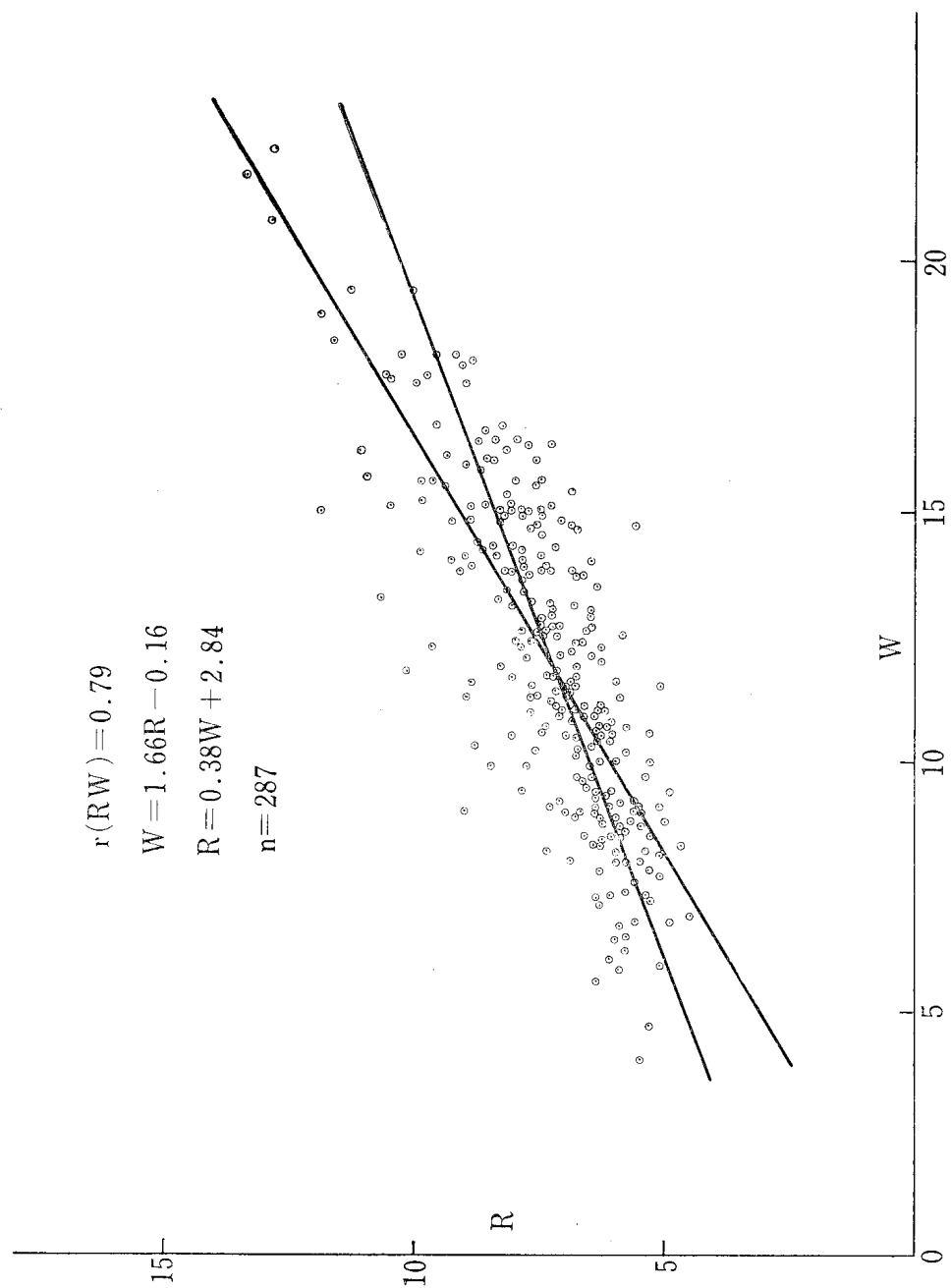


図2. R-W の相関

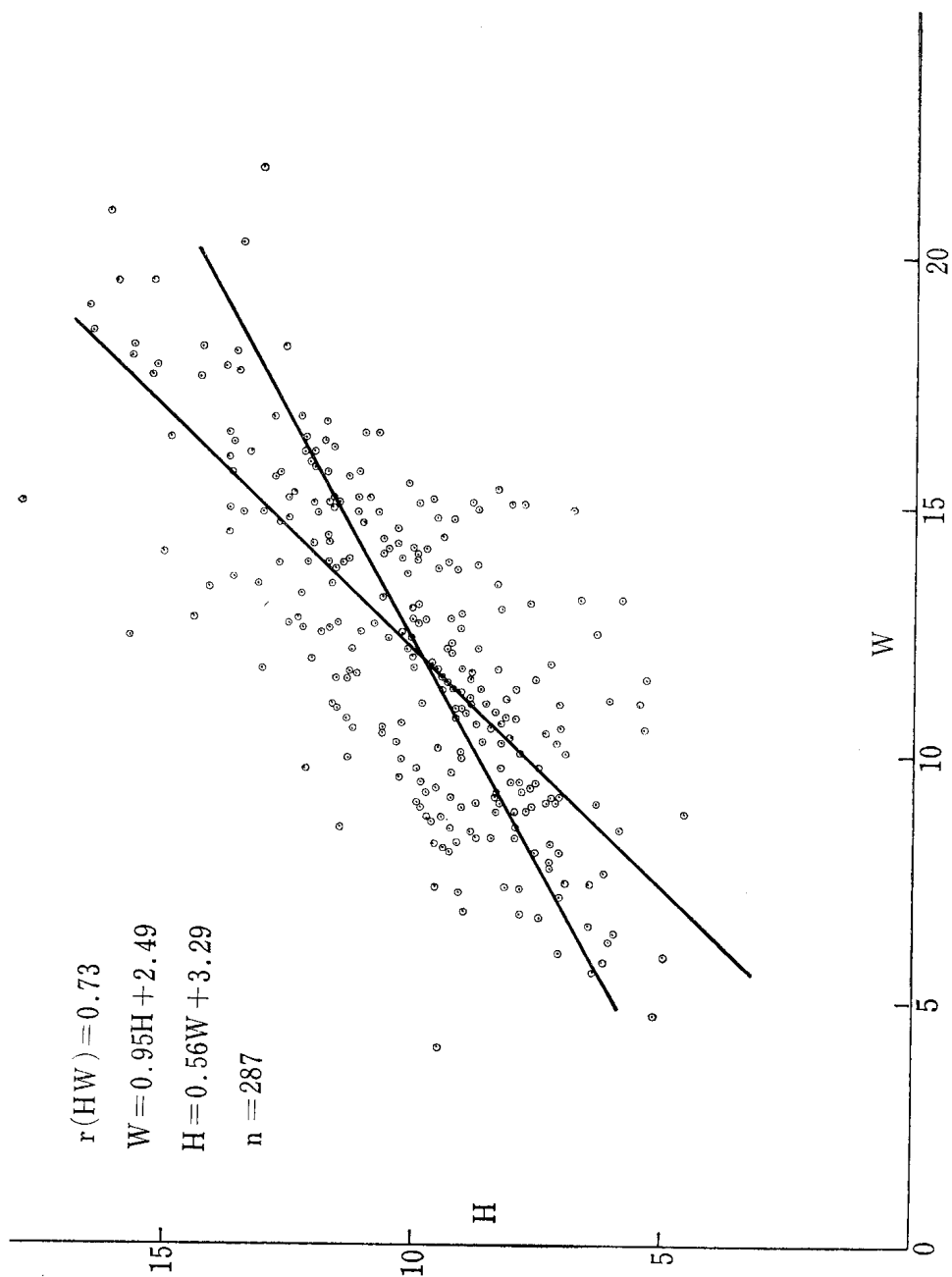


図3. H-W の相関

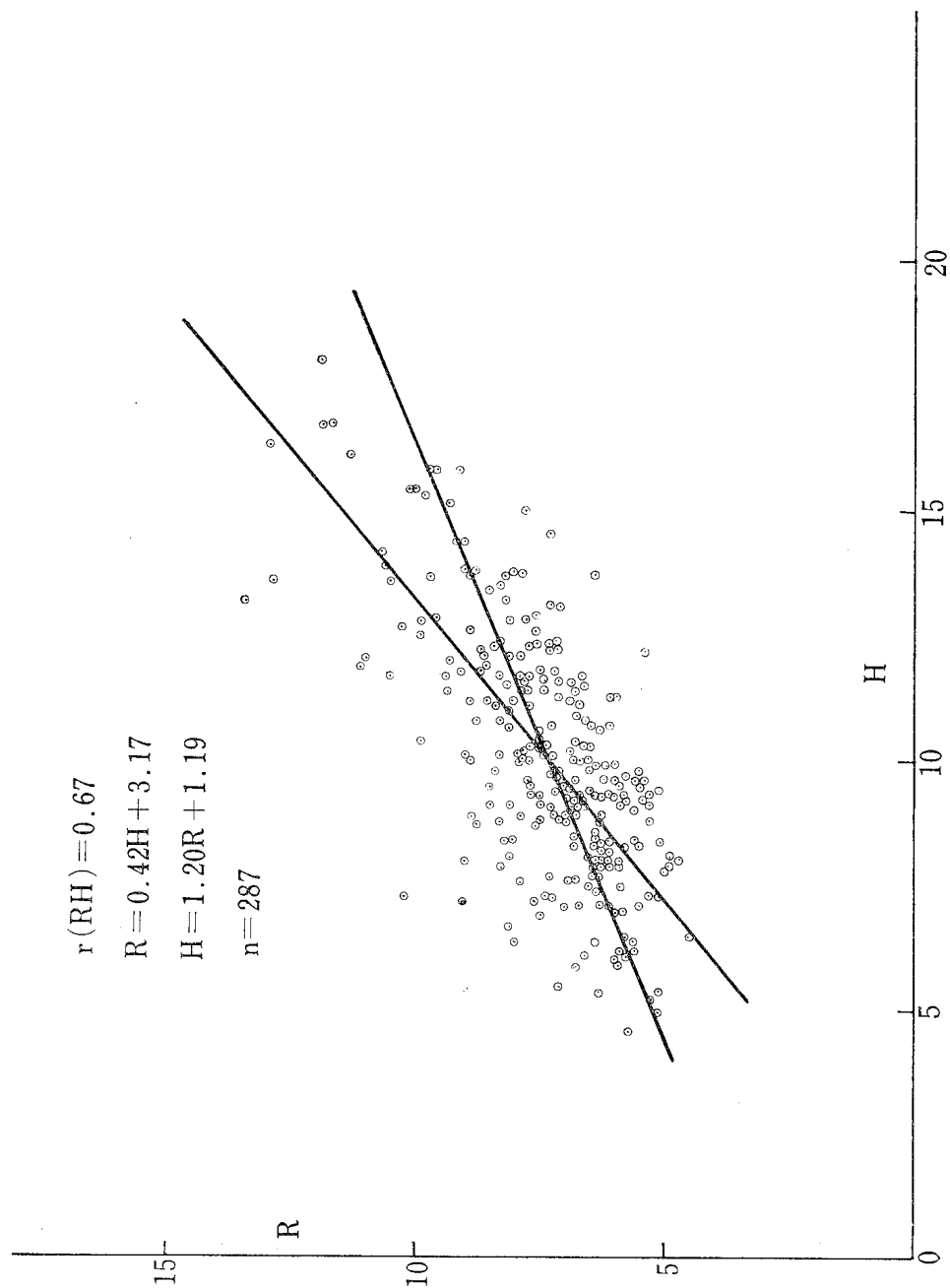


図4. R-H の相関

えるという、別の結果を生み出したことになる。

Hearing の問題では、1 番の Q 10 におけるような、いたずらに受験者の心理をまごつかせる点がある、という意見が出されている。受験者の心理的問題点については、たとえば Writing の問題でその 2 の (2) の正解が多すぎるという批判も含めて、もっと科学的な調査とデータが今後必要と思われる。

Reading の問題については13番は Bury 著 *A History of Freedom of Thought* (HUL, Oxford) の1節であるが、難しいという意見もあるので、今後全体の難易順についてさらに検討する必要がある。

全体として、Hearing, Reading, Writing の相関を見るものとしては大分疑義が出されている。予測したことではあったが、それぞれの分野の1部分ずつを切りとって比較してみるという段階で留まっているのは致し方ない。今回を土台に、より改善されたテストの作成へ向かわなくてはならない。

9.1.2 今回の形成上の新しい試みとして、時間的な制約を同一にしようとして、Reading と Writing の問題に時刻の音を流したが、これにはほとんどの人の反対があった。音が大きかったということもひとつの原因だったかもしれないが、テストにスピードの要素がどういう位置を占めるのか見ようとする場合、どんな方法をとったらよいのかしようぶん考えなければならない、ということを示唆しているように思える。ただし、時間の測定を担当教官の判断に委ねることは別な負担をかけることにもなるのでさらに検討したい。

9.1.3 テープの録音の状態は、まだまだ悪いという批判がいくつかあったが良好という意見のほうが多かった。

9.1.4 今回のテストで最大の批判は、希望通りの枚数のテスト用紙が送られてこなかったということと、問題用紙にミスプリントや不鮮明な部分があったということであろう。これでテスト条件の不統一が助長された結果になっただろうと考えると、このような失敗は2度としてはならないことと反省している。

9.2 その他

今回は3技能の相関を見ることにしたが、R と W については今回が初めてのせいもあり、問題そのものの検討が不十分であったことは認めざるを得ない。特に W のテストは語順と語い選択の問題としたので、W 技能のうちの、

重要ではあるが極く限られた面しか見ていない。また、W のテスト問題がやや易しすぎたため、上位群と下位群の区別には役立つが、各群内の差異については区別が困難であった。

H・R・W の相関を見るためには、各技能の問題の難易レベルがほぼ同じ水準にあることが必要で、今後はこの点について周到な注意がなければならない。

10. 今後の見通し

テストの施行と結果の処理の点から、W の力を見るのにも客観テストにせざるを得ず、実際に英文を書かせることはしなかったが、そのテストの妥当性を確かめる必要がある。少数の学生に実際に英作をさせて、その評価と客観テストの得点の相関を見るということをしてこの困難を克服すべきである。

今回は相関を見る対象から話す力を除いたが、次に同様な研究をするときには、是非それも入れたいものである。しかし、W のときと全く同じ困難があるので、あらかじめ、実際に話す力と客観形式のテストの得点の相関を見て、相関の高い問題だけを選ぶ必要がある。

しかし、W と S のテスト問題作成には未解決の問題が多すぎて真に良い問題を作るにはかなりの時間と労力を要する。そこで、地固めのつもりで、原点に戻り、**recognition** の技能のテストの問題から始めるべきであろう。さしあたり、聴解テストで弁別力の大きいものを作り、できたら標準化することが望ましい。次に R に移り、そのあと **production** の問題を作成し、再度 4 技能の相関を見たいものである。

Answer sheet [解答用紙]

1. Hearing (その1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	B	A	B	D	A	A	D	B	B

(1)	(2)
(1) + (2)	

2. Hearing (その2)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B	D	C	A	D	D	C	B	A	A

3. Reading

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
D	A	B	C	A	B	A	D	C	D
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	B	C	D	A	C	B	A	B	C
21	22	23	24	25					
A	B	D	A	C					

正
否
正 - 否

4. Writing (その1)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3412	2143	4132	2413	4123	1423	4132	2143	2134	2431

5. Writing (その2)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	1	2	1	3	4	2	2	3
11	12	13	14	15					
3	1	2	2	2					

(1)	(2)
(1) + (2)	

_____大学_____学年_____専攻

氏名 _____ (男・女)

合 計 点